



# 特定非営利活動法人 富山県防災士会 会報

(NPO 法人日本防災士会・富山県支部)

第28号

令和2年10月1日  
発行 富山県防災士会  
連絡先 090-9762-8267  
(事務局長：佐伯)

## ～ 感染症と避難問題について ～



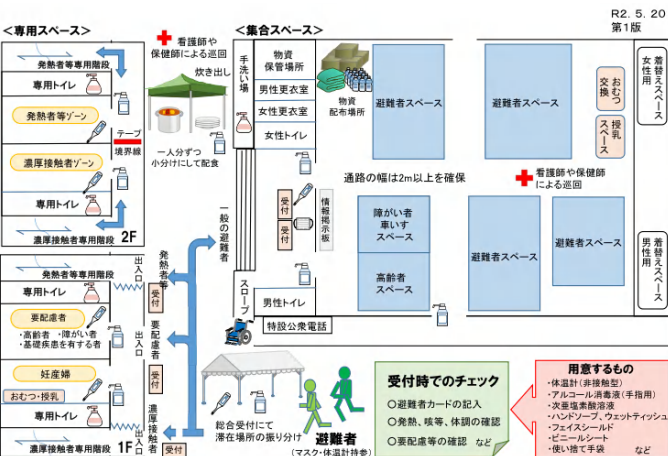
富山市婦中町宮野地区

新型コロナウイルス感染症が流行している状況下では災害時の避難や避難所における感染症対策が急務の課題です。内閣府では、4月1日より「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」等、逐次、通達等を発令しています。

避難所では、『3密』になりやすい状況が考えられます。また、避難所の数が少なく、収容人数にも制約があります。日本経済新聞8月2日の電子版「全国に潜む危ない避難所」という記事では、全国の指定避難所のうち、27%が浸水や土砂崩れのおそれがある場所に立地しているとのこと。浸水リスクのある避難所の割合が大きい県として富山県はワースト3とのことでした。

「避難」とは、難を避けることであり、安全を確保することです。先の台風10号でも九州各地の事例がありましたが、災害が発生したときは、避難所以外への避難も検討(親戚や友人宅、自宅における垂直避難等)すべきです。安全を確認して車中泊やホテル等に宿泊することも避難の方法のひとつでしょう。

富山県防災士会では、8月9日に富山市婦中町宮野地区、9月6日に氷見市十二町地区にて避難所開設訓練を、内閣府「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応第2版」を参考にして、実施しました。



令和2年5月21日付 内閣府関連資料「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料について」より抜粋



富山市婦中町宮野地区

避難所の開設といえば、まず「受付」ですが、通常の受付の前に、事前受付を設けました。この事前

受付で、①感染症罹患患者で自宅療養中の方及び濃厚接触者 ②熱があり体調の悪い方及びその家族 ③障害をお持ちの方や高齢者(要援護者等) ④通常の健常者の4つに区分し、ゾーニングを実施して訓練をしました。各々の通路もなるべく交わることがないように工夫しました。

避難所の収容人数には制限があります。感染症対策として、一人の専有面積を従来の2㎡から4㎡程度にすると、収容可能人数が大幅に低下します。そこで、段ボールベッドとパーティションにより、ある程度収容能力が改善できますが、それでも限界があります。指定避難所の運営等に関し、防災士としてさらに研究すべき課題も多いと思われます。



氷見市十二町地区

避難所ではマスク着用は当然ですが、緊急時は一時的にアルコール消毒液が不足することも想定されますので、消毒液である次亜塩素酸ナトリウム液の希釈の仕方の訓練も実施しました。



氷見市十二町地区

以上の避難所開設訓練の様子は富山県防災士会ホームページにて掲載しています。ぜひご覧いただき、今後の防災訓練等の参考になさってください。(記 佐伯)

## 富山市受託事業「避難所運営説明会」を実施



6月29日、富山市受託事業である富山市職員向け避難所運営説明会が午前と午後の2回、のべ150名に対し実施されました。「新型コロナウイルス感染症対策における避難・避難所運営のあり方」と題し、富山県防災士会佐伯事務局長が講演しました。

防災士 江尻 泰将 (射水市)

会 員  
自己紹介

江尻泰将 (えじりひろゆき) と申します。地元町内の自主防災会設立経験が当時の地域振興会長の目にとまり、防災士にならないかと声がかかりました。ちょうどその頃、防災に関してちゃんと知識や技術を身に付けて地域貢献したいなと思っていたところなので快諾し、2016年3月に防災士になりました。



防災士会の防災講座では、どちらかというワークショップが好きでして、そのせいか HUG とか DIG の講師を多く努めています。また、地区防災計画の策定やメンテナンスも行っています。中太閤山まちづくり地域振興会では副会長 (安全安心部担当) と事務局長を兼務しています。日中の仕事と両立するのが大変です。

今年8月30日の射水市総合防災訓練は、我が中太閤山地区が選ばれ、コロナ禍における避難所開設訓練を行いました。このときに先日婦中町で行った防災士のためのコロナ禍における開設訓練の経験が非常に役立ち、市の職員の方たちともチームワーク良く訓練できました。

いち早く時流をとらえ会のメンバーにヨコテンカイさせるところは、富山県防災士会のもっともよいところであると思います。防災・減災を通しての会のみなさまとの交流は、私にとって有意義であり、楽しみです。微力ですが今後ともよろしく願いいたします。

オンラインスキルアップ研修を開催



新型コロナウイルスの影響により、当初計画していたスキルアップ研修会に替えて、富山県防災士会として初めてのオンライン研修を7月4日に開催しました。この研修会では、Zoomアプリを使用し、45名の方に参加いただきました。

研修会では小杉理事長のあいさつの後、今後の活動計画については島崎副理事長に、災害図上訓練 (DIG) 風水害バージョンは江尻理事に、防災講座の実施例は小林理事に担当いただきました。オンラインでの研修会は、パソコン、タブレット、スマホなど、いろいろな媒体で参加可能であり、今後のひとつの研修のあり方を考える良い機会となりました。

なお、当日の資料と動画は、富山県防災士会ホームページ (会員専用ページ) に掲載しています。参加できなかった会員の方はぜひご覧ください。(記 上田)

あんどりすさん Web 講演会と女性防災士でのグループワークを開催

8月23日、あんどりすさんの Web 講演会と、女性防災士の集いを、オンラインを活用して開催しました。



午前、あんどりすさんに「今日からできる家族を守る防災の知恵~With コロナの複合災害に備えて~」と題して講演いただき、Zoom と



Youtube で配信し、県内外から約100名近くの方が参加されました。自然と共に生きる知恵として「仕組みから考えると臨機応変に行動できる」という、あんどりすさんのメッセージが伝わる講演で、これからの防災活動に役立つ内容のものばかりでした。

午後は、女性防災士をメインとした「コロナ禍で富山に自然災害が起こったら? ~みんなで考えてみよう!」という内容で、グループワークをしました。今、複合災害が起こったら私たちはどうすればいいのかを、IT の活用なども含めて考える機会となり、出てきた課題も多くこれからの活動の中で解決できるよう取り組んでいきたいと思っています。(記 元平)

Topics

NHK 富山放送局・Nプロジェクトひと・みち・まち と協定を締結

6月13日、NHK 富山放送局と富山県防災士会の間で、連携協定書が交わされました。普段から防災減災について備え、地域住民が素早い避難などの確な避難行動につなげることを目的としています。



また、同日には NPO 法人 Nプロジェクトひと・みち・まち と協定書の締結を行いました。



ともに連携し、持続可能な社会を目指すことを目的としています。

皆様の活動を LINE や日本防災士会富山県支部掲示板 (<https://6129.teacup.com/bousaisikai/bbs>) にお寄せ下さい。ホームページからもアクセス可能。パスワードが必要です。